



但馬農業高等学校「但農どり」新商品が完成

「但農どりチキンカツ」お披露目会を開催

兵庫県立但馬農業高等学校（養父市八鹿町高柳）の生徒が愛情を込めて育てた独自ブランドの鶏肉「但農どり」をもっと多くの人に知ってもらいたい、食べてもらいたいという思いから、同校生徒が中心となり、やぶパートナーズ株式会社（養父市八鹿町八鹿）の協力を得て、新商品「但農どりチキンカツ」を開発しました。

但農どりチキンカツは、2024年11月9日（土）に同校で開催する「但農祭」で販売を開始します。

また、11月5日（火）に同校でお披露目会を開催します。



兵庫県立但馬農業高等学校では、2001年から独自ブランドの「但農どり」を校内で飼育・販売しています。

「但農どり」は、「メスのブロイラーのみ」「広い鶏舎でのびのびと運動させている」「飼育期間は85日」「エサは無薬のもの」「安心安全な鶏肉」です。

昨年度までは、冷凍肉（1kg）のみの販売しかなく、一部部位の在庫過多に対し、新たな販売方法を模索していたところ、養父市が100%出資する地域公共会社のやぶパートナーズ株式会社（養父市八鹿町八鹿、代表取締役：五島義和氏）が製品開発を提案し、同校の課題研究の授業で二ワトリ部門を選択した生徒（3年生、5人）が中心となって、2024年4月から商品開発に挑戦し、むね肉を使用した「但農どりチキンカツ」が誕生しました。

初めての試みとなった商品開発は、但農どりを一から見つめ直すことから始め、育て上げた生徒自らが考案したレシピで商品を製造することとし、チキンカツのサイズは、一つずつ重さをはかり、理想の大きさを追求しました。

「但農どりチキンカツ」は、2024年11月9日（土）に同校で行われる「但農祭」で揚げたてのチキンカツ（250～300円）と冷凍チキンカツ（1,800～2,000円）を販売します。その後は同校で冷凍チキンカツを在庫販売します。

また、次のとおり披露目会を開催します。

「但農どりチキンカツ」お披露目会

日時：2024年11月5日（火） 午前11時～

場所：兵庫県立但馬農業高等学校 畜産実習棟 多目的教室（養父市八鹿町高柳300-1）

出席者：但馬農業高等学校生徒（3年生、5人）、担当教師（乳原、長谷川）

やぶパートナーズ株式会社（小山）

【問合せ】

兵庫県立但馬農業高等学校 畜産部門 教師 乳原、長谷川 事務室 松本

電話 079-662-6107

【担当課】

経営企画部 経営政策・国家戦略特区課 課長 小野山幸司 担当者 栗田祐樹

電話 079-662-7602